

「魅力ある大学院教育」イニシアティブ 平成18年度採択教育プログラム 事業結果報告書 作成・記入要領

平成18年度「魅力ある大学院教育」イニシアティブ採択教育プログラムの評価は、各大学から提出される事業結果報告書提出カード及び事業結果報告書をもとに行われます。事業結果報告書は、以下の一般的留意事項並びに事業結果報告書の作成・記入方法にしたがって作成してください。

1. 一般的留意事項について

- (1) 「魅力ある大学院教育」イニシアティブ 平成18年度採択教育プログラム事業結果報告書は、この作成・記入要領に基づいて作成してください。
- (2) 提出された事業結果報告書の内容（後記3. の(2)～(5)）は、事後評価結果とともに基本的に原文のまま公表しますので、教育プログラムの実施状況、成果等について、広く社会に分かりやすく紹介するという観点から作成してください。
- (3) 学校教育法第100条ただし書に定める組織の場合は、様式にある「研究科」を適宜読み替えて作成してください。
- (4) 事業結果報告書は、パソコンを使用し、以下の書式に合わせて作成してください。

用紙サイズ	A4版縦型、上下左右余白17mm
ページ数	8ページ以内 (提出カード及び「5. 審査結果表留意事項への対応状況」を除く)
文字の大きさ	10.5ポイント明朝体（ゴシック、アンダーライン等は適宜可）
段組	横書き、2段組（1行25文字、1ページ45行）
色	白黒（カラー不可）
見出し	1. ×××（改行）(1) ×××（改行）①×××として、統一
図、表、写真	本文に出てくる順にそれぞれ一連の番号と標題を付す 図：図1000、図2000…… 表：表1000、表2000…… 写真：写真1000、写真2000…… （写真に人物が写っている場合、写っている本人の許諾を予め得ておくこと） なお、公表の際には、これらの図、表、写真は白黒で表示される予定です。
提出部数	片面印刷（印刷原稿用） 1部 両面印刷・2穴あけ・左側綴じのり付け 1部 事業結果報告書及び提出カードの電子データ（CD-R（W））

2. 平成18年度採択「魅力ある大学院教育」イニシアティブ事業結果報告書提出カード(以下、提出カードという)の作成・記入方法について

- (1) 「**機関名**」欄には、法人の種別(国立大学法人、学校法人等)は記入せず、大学名のみ(採択後変更があった場合はH20.4.1現在の新名称と旧名称、変更年月日を記入のこと)を記入してください。
- (2) 「**整理番号**」欄には、教育プログラムの採択時に通知された「採択課題整理番号」を記入してください。(人社系：d001～016、理工農系：e001～019、医療系：f001～011)
- (3) 「**1. 分野(系)**」欄には、採択教育プログラムの該当する系(人社系・理工農系・医療系)を記入してください。
- (4) 「**2. 教育プログラムの名称**」欄には、計画調書(修正変更版)に記載された通りの教育プログラム名を記入してください。なお、副題がある場合は、()書きで表記してください。
- (5) 「**3. 関連研究分野(分科)**」欄の「関連研究分野(分科)」欄には、計画調書(修正変更版)に記載された通りに、関連研究分野(分科)を主なものを左から3つ以内で記載して下さい。
「キーワード」欄には、教育プログラムの内容を示すキーワードを、主なものを左から5つ以内で記載してください。
(キーワードの例)
複数指導体制の整備、外国人教員による英語授業、キャリアパス形成 等
※上記の例に限らず、教育プログラムの特色を示すキーワードを記載して下さい。
- (6) 「**4. 研究科・専攻名**」欄には、計画調書(修正変更版)に記載された「主たる研究科・専攻名」、「その他関連する研究科・専攻名」(ともに採択後組織改編があった場合はH20.4.1現在の新名称と旧名称、改編年月日を記入のこと)を記入してください。
- (7) 「**5. 取組代表者及び取組実施担当者**」欄には、H20.3.31現在の当該教育プログラムの取組代表者(研究科長)及び責任者(専攻長等)を記入するとともに、責任者については、年齢、所属研究科・専攻・職名、現在の専門、学位(全てH20.3.31現在)を記入してください。また、採択後、取組代表者及び取組実施担当者に交替があった場合は、交替年月日を記入してください。
- (8) 「**6. 各経費の支出明細**」欄は、「**経費区分**」欄に年度毎にそれぞれの経費の支出実績について「平成18年度「魅力ある大学院教育」イニシアティブ公募要領」の「経費の範囲」及び《「魅力ある大学院教育」イニシアティブ》研究拠点形成費等補助金(若手研究者養成費)取扱要領、「補助対象経費」の区分により、記入してください。それぞれの費目の内訳については、内容がある程度分かるように記入してください。

なお、年度毎に、4つの経費区分の金額の合計（支出実績）と、補助金交付額と大学負担額の合計（補助金等による収入）が一致するように記載してください。

3. 平成18年度「魅力ある大学院教育」イニシアティブ 採択教育プログラム事業結果報告書の作成・記入方法について

- (1) 1 ページ目上段の枠内には、「教育プログラムの名称」、「機関名」、「キーワード」を提出カードに従って記入してください。また、H20.3.31現在の「主たる研究科・専攻等」、「取組実施担当者名（責任者の氏名）」を記入してください。
- (2) 「1. 研究科・専攻の概要・目的」には、当該教育プログラムを実施した主たる研究科・専攻の概要（専攻の構成、学生数、教員数（ともにH19.5.1現在）、これまでの教育研究活動の状況等）及び人材養成目的について記入してください。
- (3) 「2. 教育プログラムの概要と特色」には、採択時に提出した計画調書（留意事項等を踏まえ変更を加えた場合は、修正変更版）に基づき、教育プログラムの当初の計画（実施しようとした取組及び事業終了後に期待された成果、この教育プログラムによって養成される人材像、独創的な点など）についてその特色がわかるよう具体的に記入してください。また、履修指導及び研究指導のプロセスについて全体像と特徴が分かるように図示された「履修プロセスの概念図」を必ず掲載してください。
- (4) 「3. 教育プログラムの実施状況と成果」
 - ① 「(1)教育プログラムの実施状況と成果」には、「2. 教育プログラムの概要と特色」に掲げた教育プログラムの当初計画がどのように達成されたかについて具体的な取組状況（例：カリキュラムの実施状況、セミナー・インターンシップ・シンポジウム等の実施状況や具体的事例、海外教育研究機関への大学院生の派遣状況、大学院生の研究プロジェクトへの参加状況・具体的事例など）を図表（データを含む）や写真等を交えて自由に記入してください。また、その取組の実施による現時点での成果（例えば、定量的なデータや大学が独自に実施した自己点検・評価報告、学生アンケートの結果などの内容）についても示してください。
 - ② 「(2)社会への情報提供」には、当該教育プログラムによって実施された教育取組及びその成果等についての社会に対する情報提供（例：ホームページへの掲載、活動報告書等の作成・配布等）の実施状況を具体的に記入してください。
- (5) 「4. 将来展望と課題」
 - ① 「(1)今後の課題と改善のための方策」には、「3. 教育プログラムの実施状況と成果」に掲げた2年間の事業の実施状況を踏まえた今後の課題及びそれに対する改善のための方策について、分かりやすく具体的に記入してください。

②「(2)平成20年度以降の実施計画」には、当該教育プログラムの補助事業終了後（平成20年度以降）の大学による自主的・恒常的な展開のための具体的な実施計画について記入してください。

※ 「1. 研究科・専攻の概要・目的」～「4. 将来展望と課題」の項目については合計8ページ以内（図表含む）で記入してください。

(6) 「5. 審査結果表留意事項への対応状況」

①「[留意事項]」には、当該教育プログラムの審査結果表に掲載されたとおりに、留意事項を記入して下さい。

②「[対応状況]」には、当該教育プログラムの審査結果表に掲載された留意事項への対応状況について、具体的に記入してください。

4. 当該教育プログラムの実施状況を示す追加資料の提出について

当該教育プログラムの実施状況及び専攻に所属する学生の研究活動についてまとめた報告書等があれば、1件に限り提出することができます。年度別に作成された報告書等については、併せて1件として提出することができることとします。

なお、提出部数は5部とし、提出に際しては、対応する教育プログラムが明確となるよう、報告書等の表紙右上に整理番号及び大学名を必ず記載してください。